

平成 14 年 6 月 26 日

各位

株式会社 構造計画研究所

構造計画研究所
新製品「RobotWorks」を発表

■株式会社 構造計画研究所（本社：東京都中野区、資本金 10 億 1,020 万円、社長：富野壽）は、新製品「RobotWorks」を 6 月 26 日に発表した。

■「RobotWorks」は、三次元 CAD 「SolidWorks」に統合されたロボットシミュレーターで、Compucraft 社(イスラエル、テルアビブ)が開発し、2001 年 10 月より欧米市場で販売されているが、日本では(株)構造計画研究所が今年 7 月 1 日より販売を開始する予定である。

「RobotWorks」は、生産技術現場において、これまで産業用ロボットに動作手順を人間が実際のロボットを使って 1 点 1 点ティーチングしていたところを、コンピューター上の仮想ロボットで瞬時に行うことのできる、業界初の CAD 統合型ロボットシミュレーターである。

「SolidWorks」に統合されているため、データをコンバートする必要がなく、形状変更や交換がそのままおこなえ、ティーチングポイントを完全自動生成できる。SolidWorks 環境下での優れた操作性もまたその特徴の 1 つとして挙げられる。さらに、これらの機能を使ってロボットシミュレーションをおこなうことにより、ロボットの適用検討とオフラインティーチングが可能である。

価格は 150 万円と、他のロボットシミュレーターのほぼ 1/3 から 1/10 に設定されており、(株)構造計画研究所では、初年度 50 ライセンス、2 年目には 100 ライセンスの販売を計画している。

7 月 3 日から 5 日まで東京ビックサイトで行われる設計・製造ソリューション展では、SolidWorks 社ブースにて「RobotWorks」を用いた実機ロボットによるシミュレーションを展示する。展示会の詳細についてはこちら：<http://www.solidworks.co.jp/dms2002/>

RobotWorks の主な機能

- ティーチングポイントの完全自動生成

SolidWorks モデル形状のエッジ/フェース/カーブをそのまま利用してティーチングポイ

ントを完全自動作成（IGRIP、ROBOCAD と同等の機能）

複雑 な曲面上においてすべてのポイントを面直にキープしたい場合や、ティーチングポイントの数が多く場合に非常に有効

- ツール/ワークの変更への対応

CAD 統合型であるため、再度データをコンバートする必要なし

ツール /ワークの形状変更や交換がそのままおこなえ、製造サイクルの早い製品や、1 日に数パターンのティーチングが必要な多品種を扱うエンジニアリングメーカーに非常に有効

- 洗練された操作性

- ・ SolidWorks に統合された環境で使用することができるため、操作が容易

- ・ 各ロボットメーカーのロボットはライブラリとして用意され、ユーザーはツール（工具）およびワーク（製品）のみを用意するだけで OK

適用ロボット

- ・ デブリング(バリ取り)
- ・ カット(切断)
- ・ シーリング(糊付け)
- ・ ポリシング（研磨）
- ・ アーク溶接
- ・ 塗装
- ・ パレタイジング
- ・ ハンドリング
- ・ 自動化

動作環境

- ・ PC：Intel® Pentium® III もしくは AMD® Athlon® を搭載したパソコン
- ・ OS：Microsoft® Windows® 2000, Windows® NT 4.0 or Windows® XP
- ・ メモリ：最少 256 MB RAM （512 MB 推奨）
- ・ SolidWorks 2001 以上が必要

その他は SolidWorks のインストール環境に準じる

販売価格

RobotWorks V2.6 ￥1,500,000

RobotWorks V2.6 年間保守（バージョンアップおよびサポート） ￥300,000

* RobotWorks のインストールには SolidWorks が必要です。

* フローティング版はありません。

【リリース内容に関するお問合せ先】

株式会社 構造計画研究所

〒164-0011 東京都中野区中央 4-5-3

SBD 営業部

川村 榮子

Tel : 03-5342-1051

Fax : 03-5342-1223

E-mail : eiko@kke.co.jp

プロダクトの HP : <http://www3.kke.co.jp/sbd/rw>
